

10 校内避難訓練の実施

【校内での避難訓練】

震災（地震）、火災、原子力防災等に対する避難訓練を、毎年実施する。その際、関係機関（内子消防署 等）に協力を仰ぎ、指導・助言のもと改善を加えていく。

（1学期・・・地震、2学期・・・火災）

※ 避難訓練の内容については、毎年、内容（発生場所、時間、方法等）を検討して実施する。

避難訓練時の基本的行動

災害種別等		生徒の基本的行動
校内 火災	授業中	<ol style="list-style-type: none"> 1 すべての行動をやめ、静かに放送を聞く。 2 教師の指示を受けるまでは身勝手な行動をしない。 3 教師の指示を受け、ハンカチを出し、静かに素早く避難する。学用品は持たない。 4 煙が出ている場合は、身を低くし、ハンカチを口にあて、煙を吸わないようにする。 5 「おさない」「走らない」「しゃべらない」「もどらない」で行動し、特に、階段においては前の人を押さないようにする。 6 運動場では早足で集合場所に向かう。集合場所では整列し、座って指示があるまで待つ。
	休息・休憩中	<ol style="list-style-type: none"> 1 教室、廊下、体育館にいる場合 <ol style="list-style-type: none"> ① 放送及び教師の指示をよく聞き、指示どおり静かに行動する。 ② 廊下、トイレ等にいる生徒は、その場で教師の指示を待つ。 ③ 避難の途中で教室等に引き返さない。 2 運動場にいる場合 <ol style="list-style-type: none"> ① 放送及び教師の指示に従い、決められた集合場所に整列し、座って教師が来るのを待つ。
地震 発生	授業中	<ol style="list-style-type: none"> 1 あわてて外へ飛び出さずに、机の下に身を入れ、頭を防護する。 2 教師の指示により、運動場へ避難する場合は、火災時の避難に準じて行う。 3 避難は落下物から身を守るため、鞆等を利用する。
	休息・休憩中	<ol style="list-style-type: none"> 1 教室、体育館にいる場合 <ol style="list-style-type: none"> ① 教室にいる場合は、直ちに机の下に身を入れる。 ② 廊下、体育館にいる場合は、ガラス窓から離れ、廊下等の中央に身を伏せ、教師の指示に従い行動する。 2 運動場にいた場合 <ol style="list-style-type: none"> ① 校舎等から離れ、頭を守って伏せる。 ② 地震動が収まり次第、教師の指示に従い行動する。

- 【目的】 非常変災に際し、生徒及び教職員が安全かつ迅速に避難できるための能力や態度を育成するため、避難方法や基本的な行動様式を認識させる。
また、被害を最小限にとどめるため、非常変災時の対策計画に基づき、各役割分担の技能の向上及び内容の周知徹底を図る。

1 日時 令和 年 月 日() : ~ : (雨天時は体育館へ避難) <日時未定>

2 内容

- ア 地震を想定した避難訓練…実際に避難経路を通して避難する訓練
※ 雨天時は、地震により伊方原子力発電所から放射能が漏れるという設定

3 全体の流れ

- ア 緊急放送をする。(授業者の指示で全員、机の下にもぐり身を守る体勢をとらせる)
「(チャイム) 訓練、訓練、訓練。緊急地震速報です。強い揺れに警戒してください。(チャイム) 訓練、訓練、訓練緊急地震速報です。強い揺れに警戒してください。これは訓練です。」
「揺れが止まりました。今のうちに急いで避難しなさい。」
イ 下記「避難時の心構え」に従い、避難・誘導を行う。
「運動場の中央に集合」と設定しての避難・誘導
ウ 生徒確認
エ 学校長の指導・講評
オ 上履きの靴底を洗い(保健室前) 校舎内に入る。

4 避難時の心構え

- ア 授業担当教師は、まず廊下に出て、状況を把握する。
イ 授業担当教師は、状況により生徒に避難方向を指示する。
ウ 授業担当教師の指示にしたがい、整然と移動を始める。
エ 廊下に出て、速やかに避難する。(上履きのまま)
オ 避難中は、しゃべったり、押したりしない。校舎内は走らず、校庭に出たら駆け足で避難場所に集合する。
カ 各学級の授業担当教員は出席簿を持ち、残留生徒がいないことを確認し、生徒の最後尾につき避難する。
キ 避難場所に集合し、学級担任は人員確認(肩をたたきながら確認)の上、学年主任に報告する。
(学級担任→学年主任→教頭→校長)
※ 主任不在の場合は、1組担任が主任を代行する。
※ 職員室にいる職員は、混乱防止のため、避難誘導を行う。

5 避難訓練時の各係

- | | |
|--------------|--------|
| ○ 校内放送 | 教務(教頭) |
| ○ 避難誘導 | 授業担当教員 |
| ○ 救護 | 養護教諭 |
| ○ 整列指揮 | 各学年主任 |
| ○ 靴底拭き用の雑巾準備 | 保健委員 |
| ○ 時間測定 | 教頭 |

6 避難経路 (裏面参照) 【雨天時は校舎内を歩いて体育館へ】

7 集合時の隊形と次第

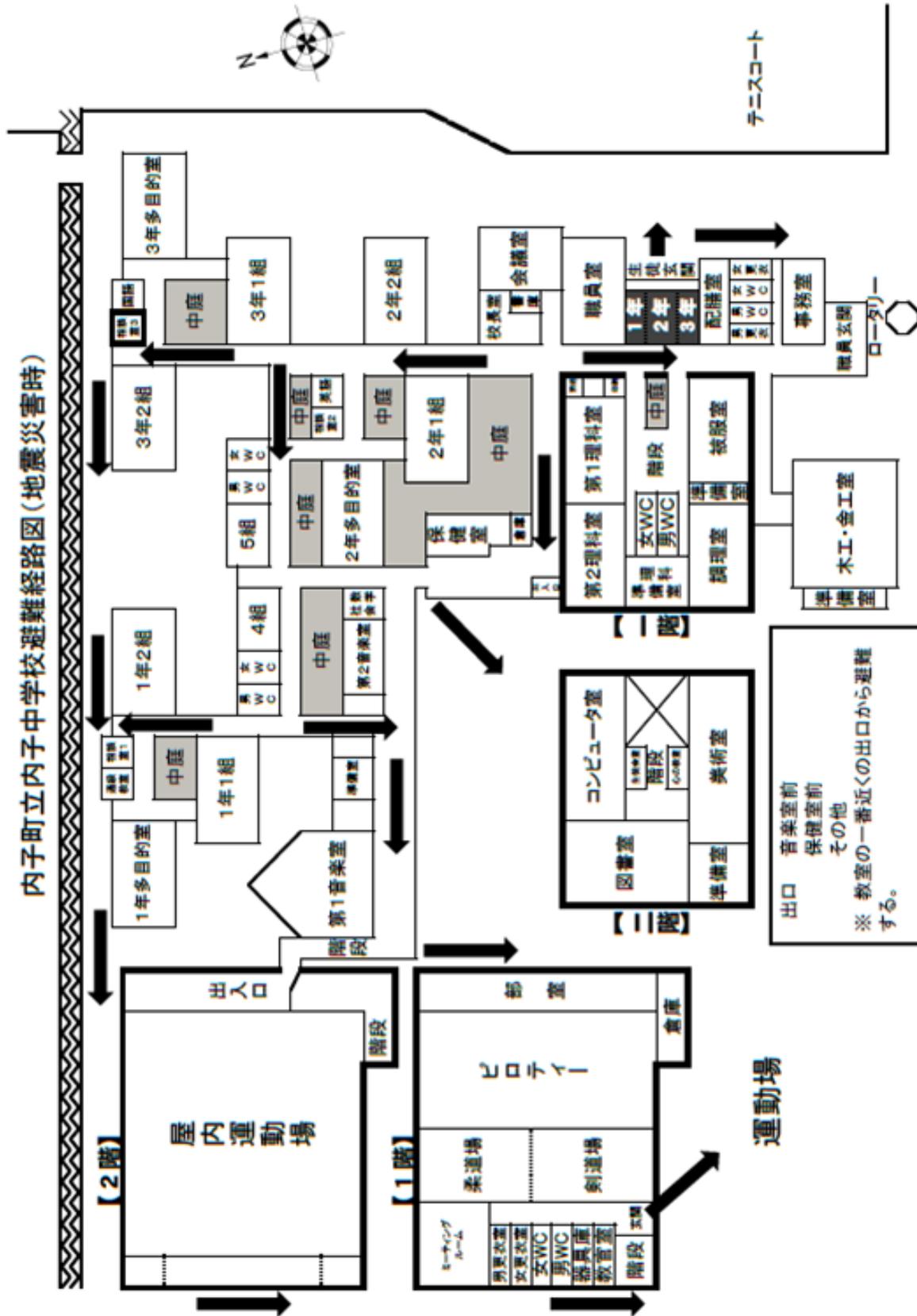
- 隊形：朝礼の隊形(先頭は学級委員)
※ 全体進行(教頭) 講評(校長)

8 上履き洗いの場所 保健室前 ※ バケツ・雑巾等の準備(保健委員)

9 その他

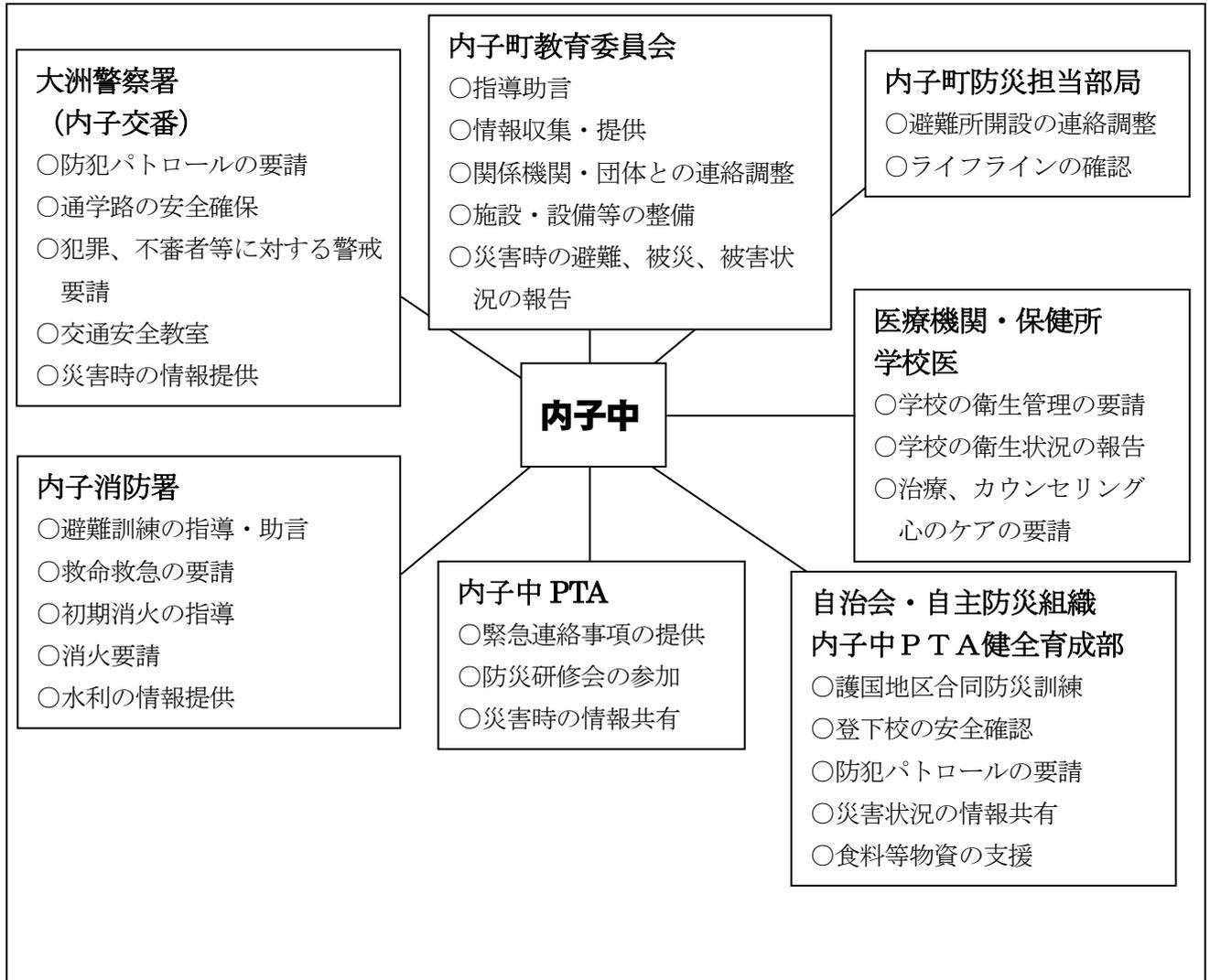
- ① 地震の際の避難方法についての事前指導を 月 日() までにしておく。
② 3学期は、火災を想定した避難訓練を実施予定。(消防署と連携して)

内子町立内子中学校避難経路図(地震災害時)

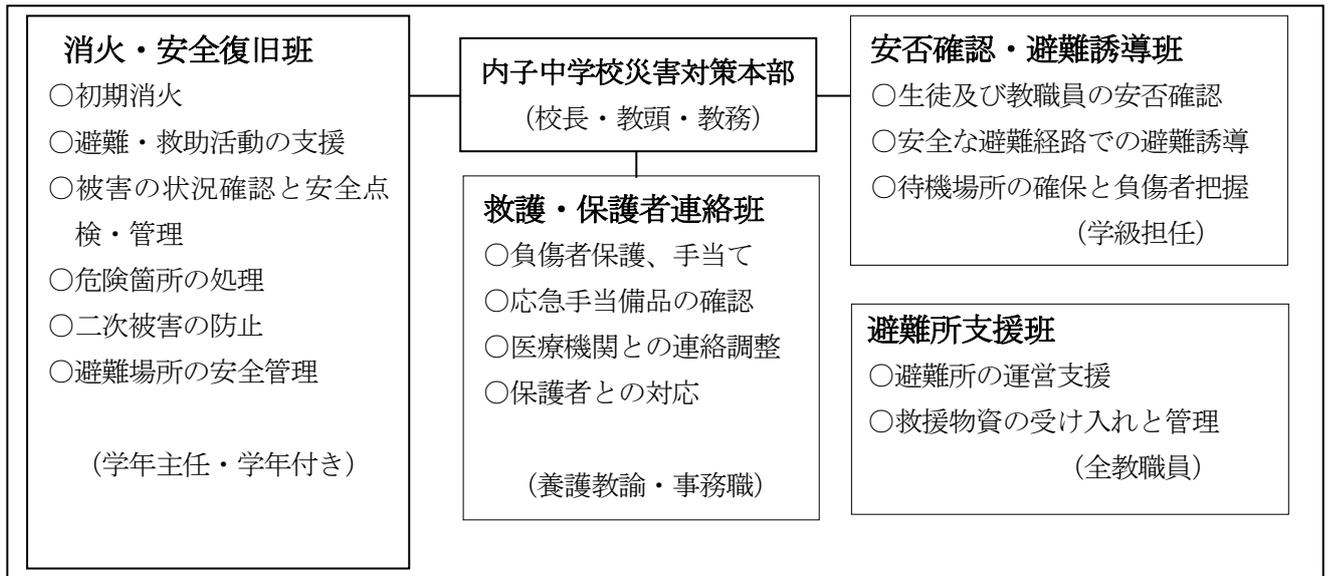


所在地名	喜多郡内子町内子2789番地 内子町立内子中学校	
建物棟数 主な建物の構造	5棟+体育館 校舎(木造)・体育館(鉄筋コンクリート)	
施設	避難施設	運動場・体育館
	通信施設	電話 0893-44-3155
	警報施設	校内放送
面積	常備警備人員	昼、日直1名 土曜日、日曜日、祭日及び夜間は無人化。
	のべ面積(校舎) のべ面積(体育館)	4,282.70613 m ² 1,898.86 m ²

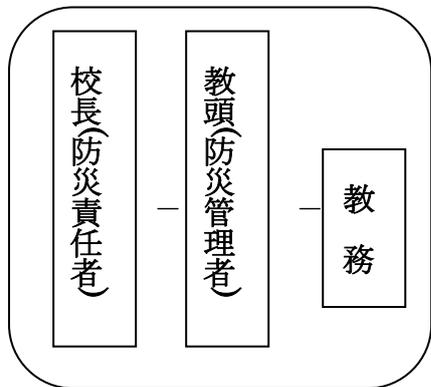
12 地域、関係機関との連携



13 内子中学校災害対策本部 (災害対策本部 各班の役割)



(内子中学校災害対策本部)



内子中学校災害対策本部の役割

- 教職員の体制及び配置決定
- 各班との連絡調整
- 非常持ち出し書類等の搬出保管
- 記録・報告書の作成
- 放送による連絡・指示
- 応急対策の決定
- 関係機関との連絡調整
- 情報収集
(準備しておくもの)

防災マニュアル、学校の敷地図等、ラジオ、懐中電灯(ろうそく)、携帯電話、日誌、生徒名簿、緊急連絡表、工具 AED 等

14 学校施設の安全管理と地域の状況把握

(1) 安全点検の実施

毎月、20日前後に全教職員での安全点検を実施する。その際、防災の観点からも施設設備の点検を実施し、改修等の必要がある場合には、安全点検表に具体的に記入、教頭(防災管理者)に提出する。教頭は、それを受け、校長(防災責任者)に報告、対処する。

防火管理者(教頭)・防火担当責任者(アラビア数字)・火元責任者一覧表(0付数字)

(下記の表は、安全点検分担場所と管理担当者一覧と兼ねるものとする。令和5年度)

番	防火担当場所・火元責任者名			番	防火担当場所・火元責任者名		
1	事務室関係（事務長）		宮内	8	2年（2学年主任）		富山
	①	職員玄関	事務係長 宮部		①	21教室	学級担任 二上
	②	事務室	事務長 宮内		②	22教室	学級担任 幸山
	③	男子更衣室	生徒指導 上田清		③	2年多目的室	2年主任 富山
	④	男性トイレ	教頭 清家		④	英語準備室	英語担当 上田清
	⑤	女性トイレ	女性教諭 武岡		⑤	相談室2	2年主任 富山
	⑥	女性更衣室	女性教諭 武岡		⑥	5組	学級担任 戎井
2	職員室関係（教頭）		清家	9	1年（1学年主任）		矢野
	①	生徒玄関	生徒指導 上田清		①	11教室	学級担任 宮本
	②	職員室	教頭 清家		②	12教室	学級担任 中野
	③	会議室	教頭 清家		③	1年多目的室	1年主任 矢野
	④	書庫	教頭 清家		④	通級指導教室	通級担当 武岡
	⑤	校長室	教頭 清家		⑤	相談室1	1年主任 矢野
3	湯茶室関係（環境主任）		中野		⑥	男子トイレ	1年担当 宮本
	①	放送室	視聴覚主任 二上		⑦	女子トイレ	1年担当 西森
	②	湯茶室	環境 中野		⑧	4組	学級担任 西森
	③	印刷室	環境 中野	10	3年（3学年主任）		上田敏
	④	配膳室	給食主任 曾根		①	31教室	学級担任 石川
4	木工金工室（技術科主任）		森岡		②	32教室	学級担任 西岡
	①	木工金工室	技術科主任 森岡		③	3年多目的室	3年担当 上田敏
	②	フェンス内	教頭 清家		④	相談室3	学年主任 上田敏
5	特別教室1階（理科主任）		矢野		⑤	国語資料室	国語担当 富山
	①	理科1	理科担当 矢野		⑥	男子トイレ	3年担当 石川
	②	理科2	理科担当 幸山		⑦	女子トイレ	3年担当 西岡
	③	理科準備室	理科主任 矢野	11	音楽室（音楽主任）		西岡
	④	男子トイレ	2年担当 二上		①	音楽室	音楽主任 西岡
	⑤	女子トイレ	2年担当 幸山		②	音楽準備室	音楽主任 西岡
	⑥	調理室	家庭科主任 西岡		③	音楽室2	音楽主任 西岡
	⑦	家庭科準備室	家庭科主任 西岡		④	数学・社会準備室	数学・社会主任 上田敏
	⑧	被服室	家庭科主任 西岡	12	体育館（体育主任）		戎井
6	特別教室2階（図書館主任）		幸山		①	2階フロアー	体育担当 戎井
	①	コンピュータ室	情報教育主任 森岡		②	2階倉庫	体育担当 戎井
	②	図書室	図書館主任 幸山		③	2階男女トイレ	体育担当 中野
	③	美術室1	美術科主任 福岡		④	2階舞台	体育担当 戎井
	④	美術室2	美術科主任 福岡		⑤	2階放送室	視聴覚主任 二上
	⑤	美術準備室	美術科主任 福岡		⑥	1階管理室	体育担当 戎井
	⑥	心の教室	教育相談 上田清		⑦	1階倉庫	体育担当 戎井
	⑦	生徒会室	生徒会担当 石川		⑧	1階男女トイレ	剣道部顧問 富山
7	保健室（養護教諭）		曾根		⑨	1階器具庫	剣道部顧問 富山
	①	保健室	養護教諭 曾根		⑩	1階トレーニング室	剣道部顧問 富山
	②	倉庫	養護教諭 曾根		⑪	1階男子剣道部室	剣道部顧問 富山
	③	階段下倉庫	教頭 清家		⑫	1階女子剣道部室	剣道部顧問 富山
予備				13	①	外男女トイレ	野球部顧問 上田清
					②	外体育器具庫	野球部顧問 上田清
					③	外石灰室	体育担当 戎井
				14	①	部室	各部顧問

(2) 学校施設・設備の整理と転倒防止

- ア 校舎平面図、校舎の電気配線図、水道配管図、消火設備図等の準備と確認
イ 教室内での転倒落下防止対策を図る。（書架、戸棚、テレビやパソコン等）

(3) 校区内の状況把握

ア 通学路の危険箇所の把握

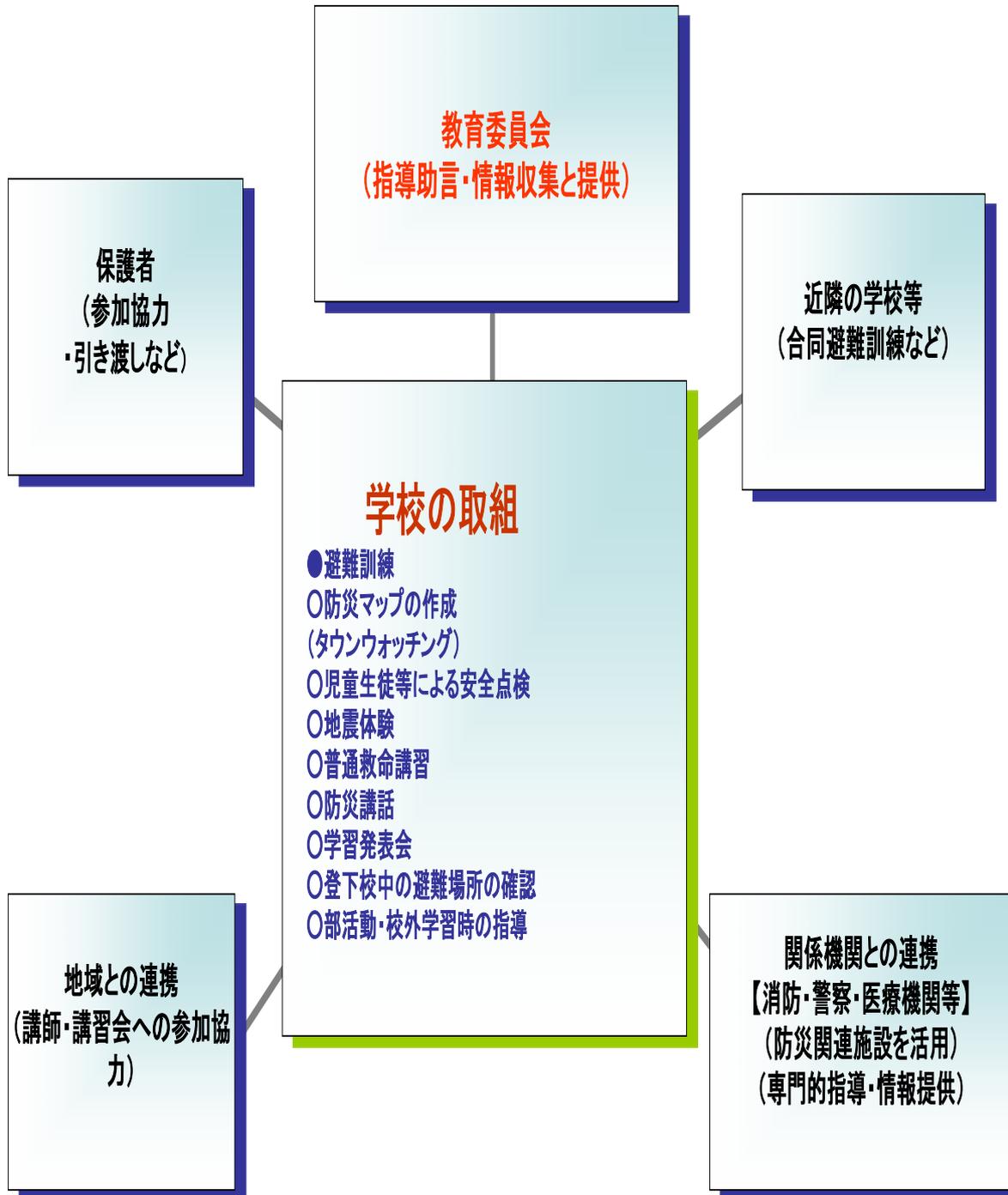
通学路の危険箇所把握のための点検を生徒や保護者とともにを行い、状況を把握しておく。その際、地震発生時に危険が予想されるブロック塀、自動販売機などの倒壊、広告・看板等の落下、がけ崩れ等の恐れがある場合には、通学路の変更を含めて検討する。また、水害への対応として「土石流」の恐れがある「清栄川」の状況をきちんと把握し、避難可能場所の確認をしておく。（土石流が予想される場合には、速やかに清栄川から離れた場所に移動させる）

15 職員研修

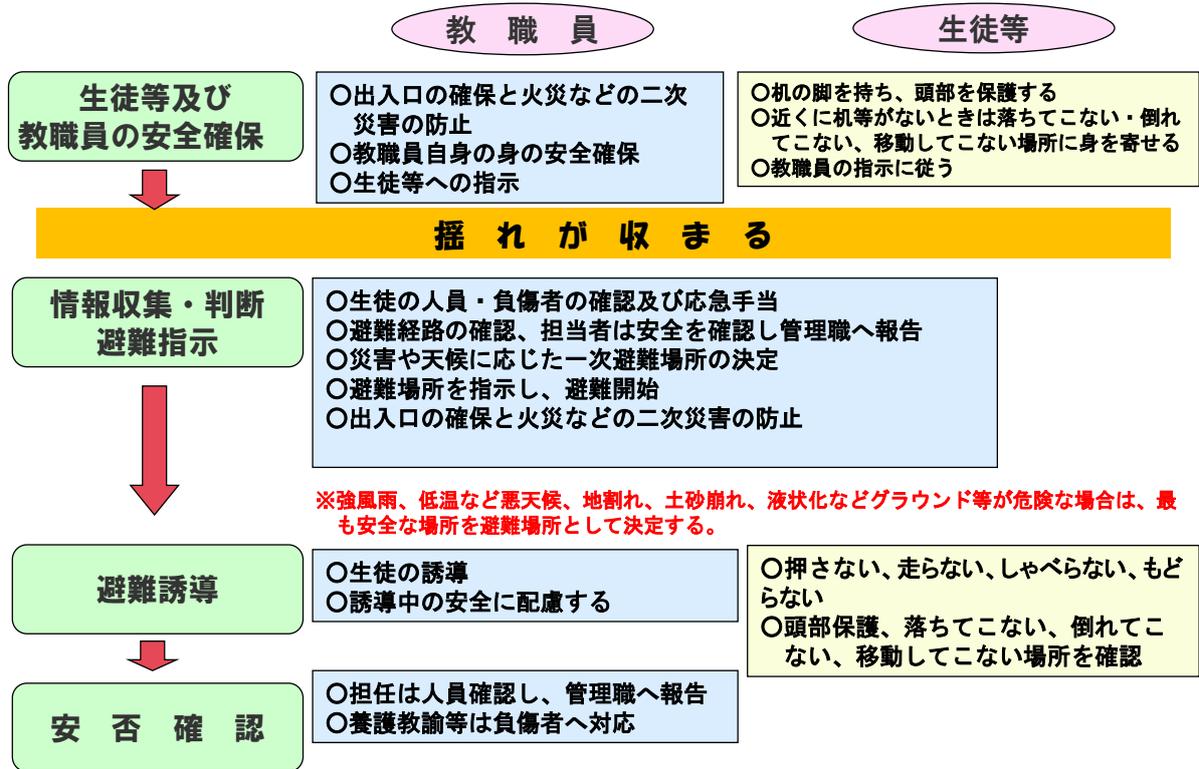
職員の研修として、以下の研修を行うものとする。

- (1) マニュアルに基づく防災避難訓練
- (2) AED、心肺蘇生法等の応急手当
- (3) 生徒の引渡し等の方法について
- (4) 生徒の危険予測、回避能力等を育成するための安全教育の進め方
- (5) 生徒の心のケアに関すること
- (6) その他

教職員研修 ①



内子中学校 生徒の在校時の初期対応



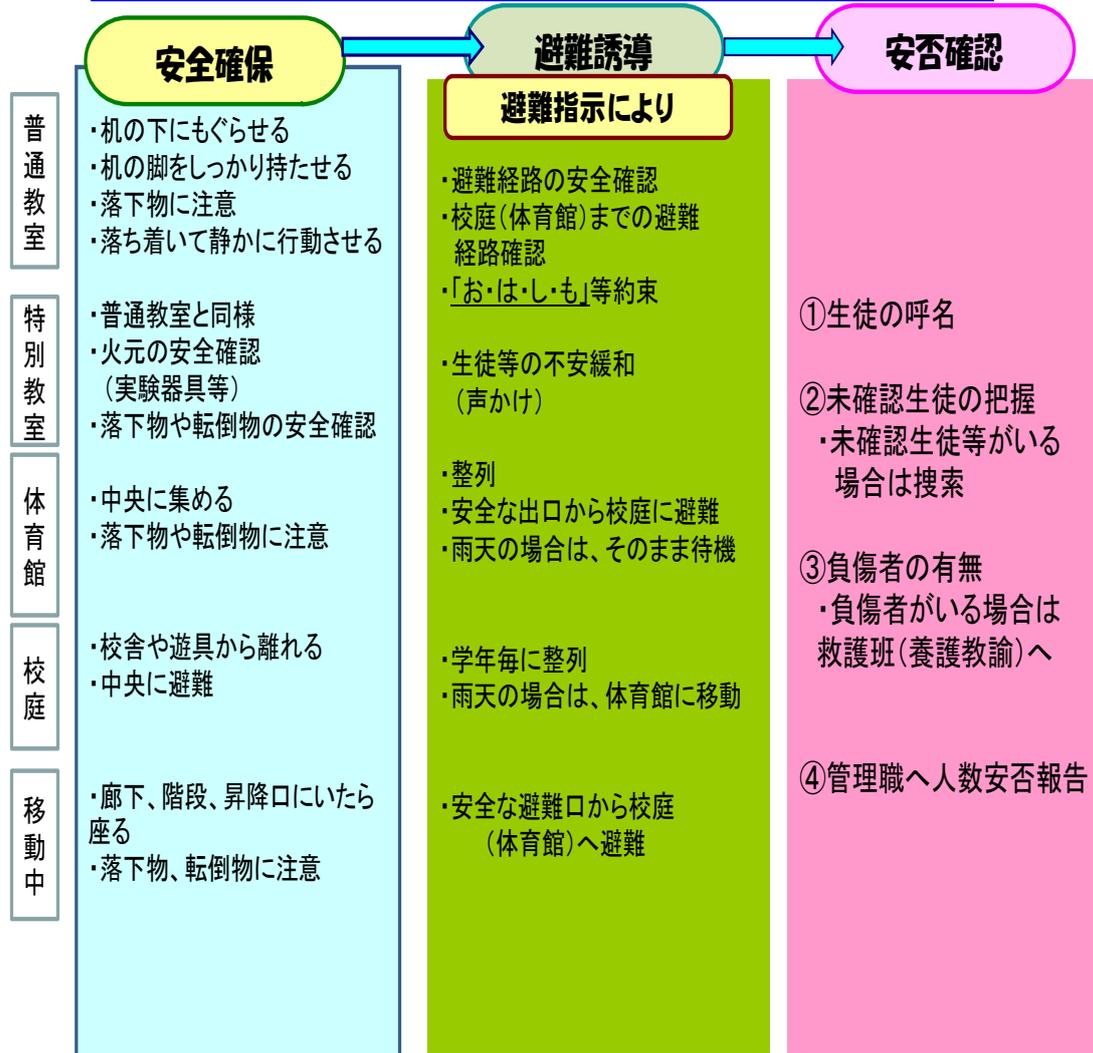
生徒の動きと避難のポイント

- (1) 地震の時の初期対応（1回目の揺れをやり過ごす）
 - ア 出入口の確保する。
 - イ 机などの身を守るものの下に入り頭を保護する。
- (2) 地震の時の初期対応（揺れが収まったら）
 - ア 避難指示を待つ。
 - イ できれば火元などを止め、二次災害を予防する。
 - ウ 頭部を保護しながら、避難指示に従って避難する。
(押さない・走らない・しゃべらない・もどらない)
 - エ 誘導者の指示に従い、安否確認に協力する。
 - オ 教職員の手助けができる時は、積極的に手助けする。

教職員の対応留意点

- 病弱や肢体不自由の生徒等、配慮を要する生徒の避難等に際しては、車いす・ストレッチャーを利用したり、教職員が背負うなど、個人に合った方法をとる。
- パニックを起こさないように、声をかけて安心させる
- 生徒等の健康状態に気を配りながら避難する。

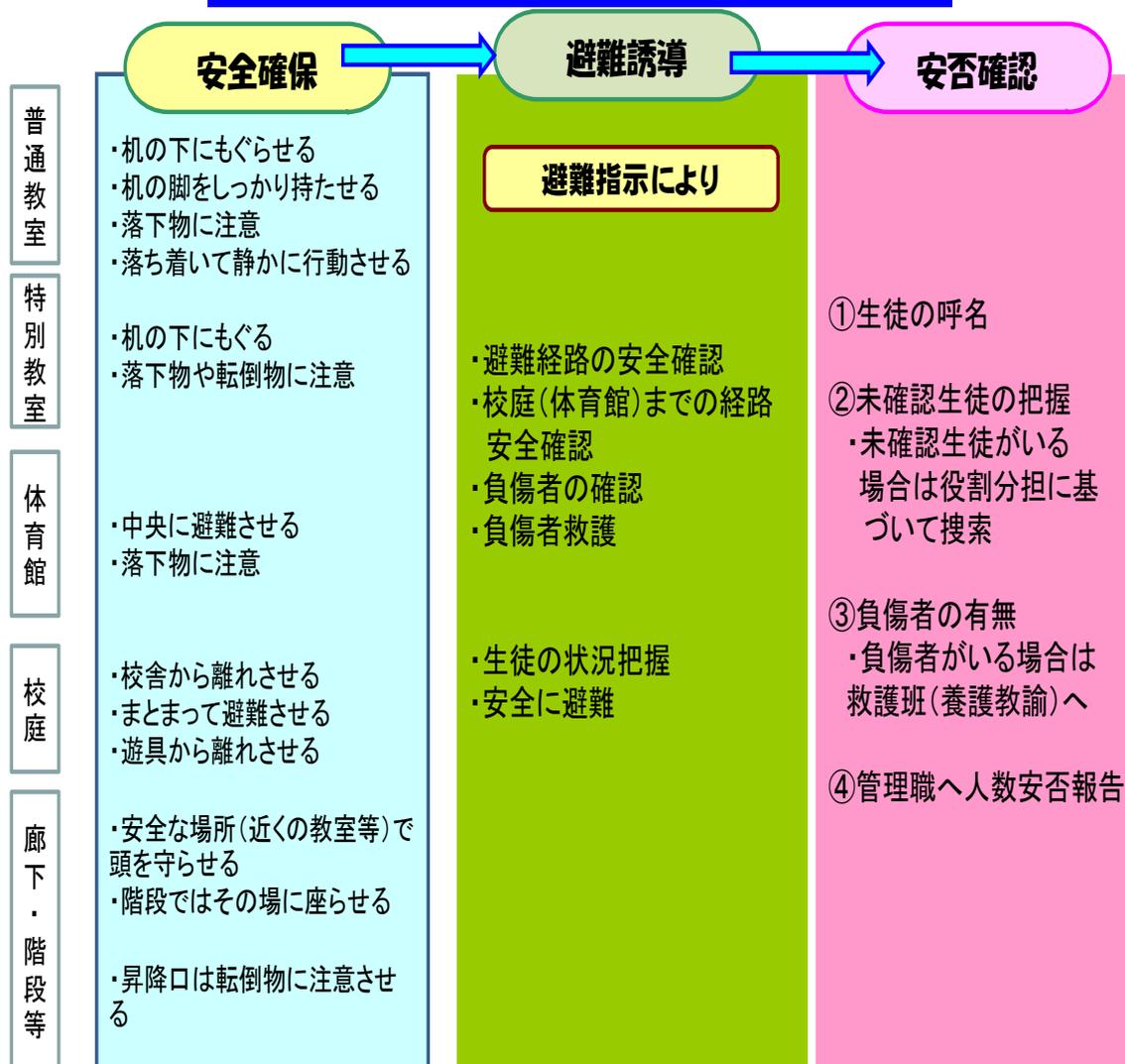
指導中の初期対応



避難時の生徒の心得

- ① グラツときたら、戸を開けて出口を確認する。
- ② 教室内では、机の下に潜る。あわてて外へ飛び出さず、教職員の指示に従い電源や元栓を切る。
- ③ 頭部を保護して避難する。
- ④ 廊下では、中央部にしゃがみ、窓ガラスから離れる。
- ⑤ 階段では、頭を守りその場に伏せる。
- ⑥ グラウンドでは、ネット・ゴールから離れ、中央部に集まってしゃがみ、教職員の指示を待つ。

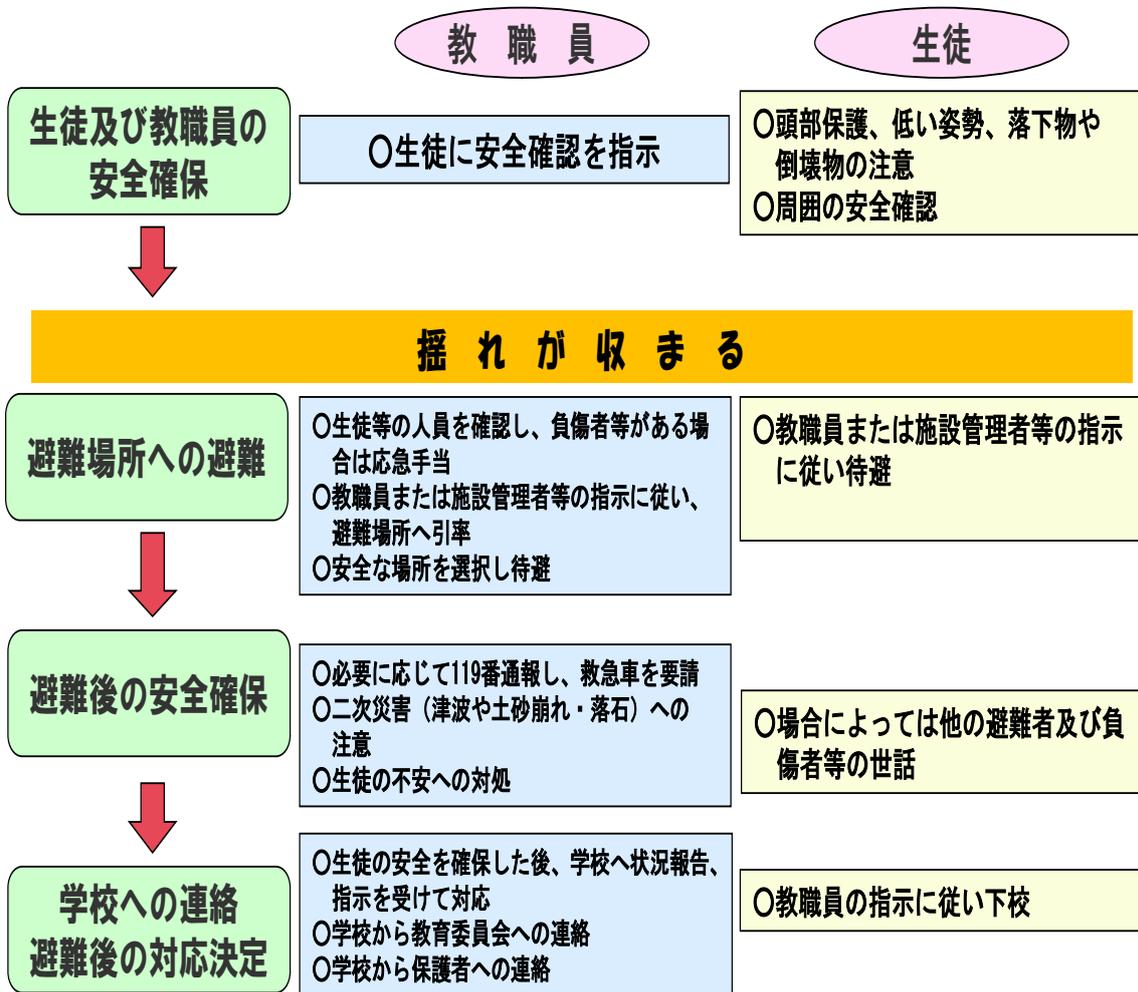
休み時間等の初期対応



避難時の生徒の心得

- ① グラッときたら、戸を開けて出口を確認する。
- ② 教室内では、机の下に潜る。あわてて外へ飛び出さず、教職員の指示に従い電源や元栓を切る。
- ③ 頭部を保護して避難する。
- ④ 廊下では、中央部にしゃがみ、窓ガラスから離れる。
- ⑤ 階段では、頭を守りその場に伏せる。
- ⑥ グラウンドでは、ネット・ゴールから離れ、中央部に集まってしゃがみ、教職員の指示を待つ。

校外活動時の初期対応



* 校外活動に際しての事前確認及び事前指導

- ・見学先の避難経路・避難場所の確認と施設管理者等との安全面について打ち合わせ
- ・校外活動時の留意事項の指導徹底（指導者の指示をよく聞くこと、一人で行動しないこと、トイレ等で集団を離れる場合は連絡をすること等）

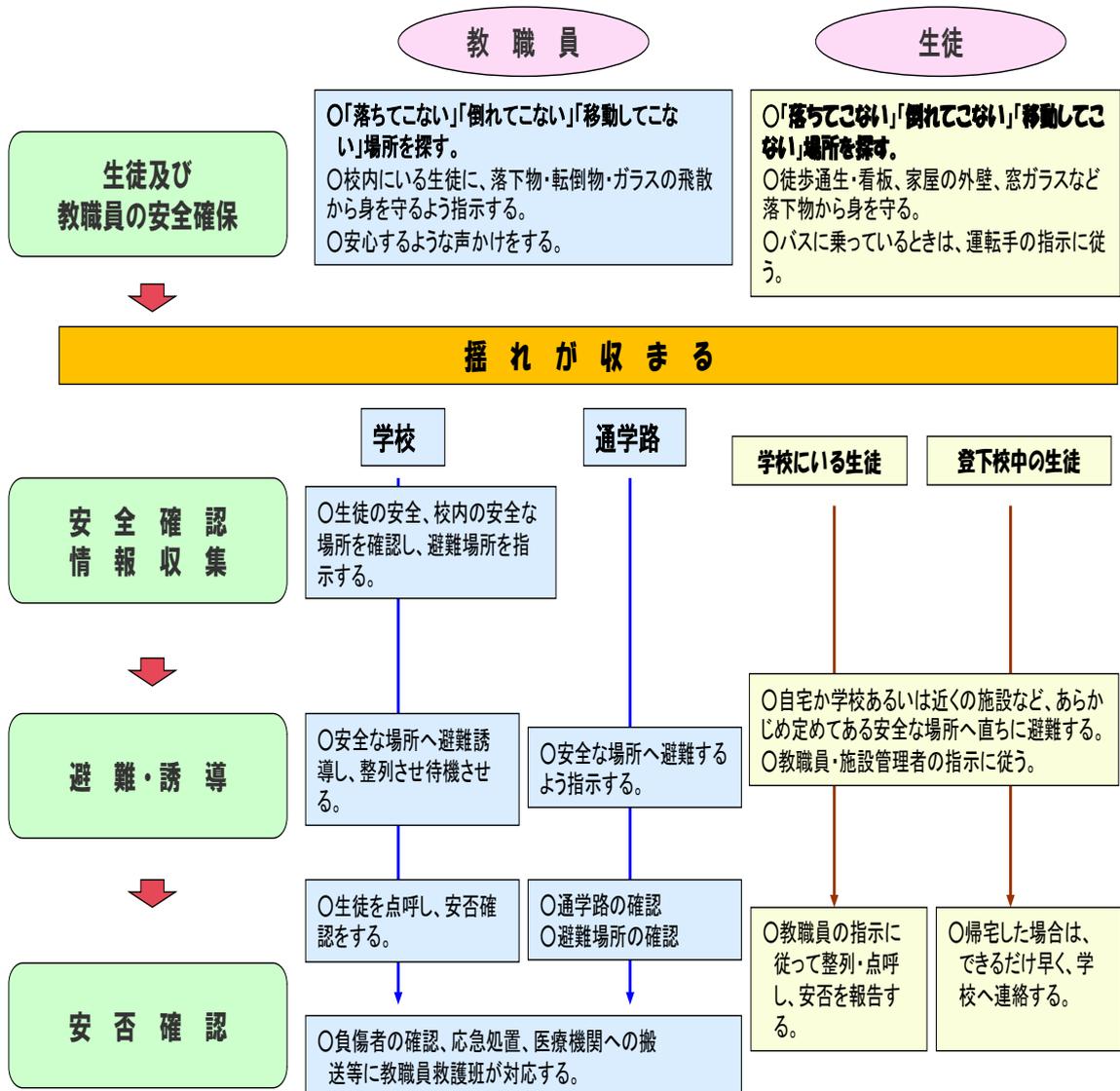
初期対応

- ① グラツときたら、頭部を保護する。
- ② 低い姿勢で落下物や倒壊物を避ける。

揺れが収まったら

- ① 頭部を保護して避難する。（近くの安全な場所を選択する）
- ② 落下物や倒壊物に気をつける。
- ③ 近くの丈夫な建物などに避難する。

登下校時の初期対応



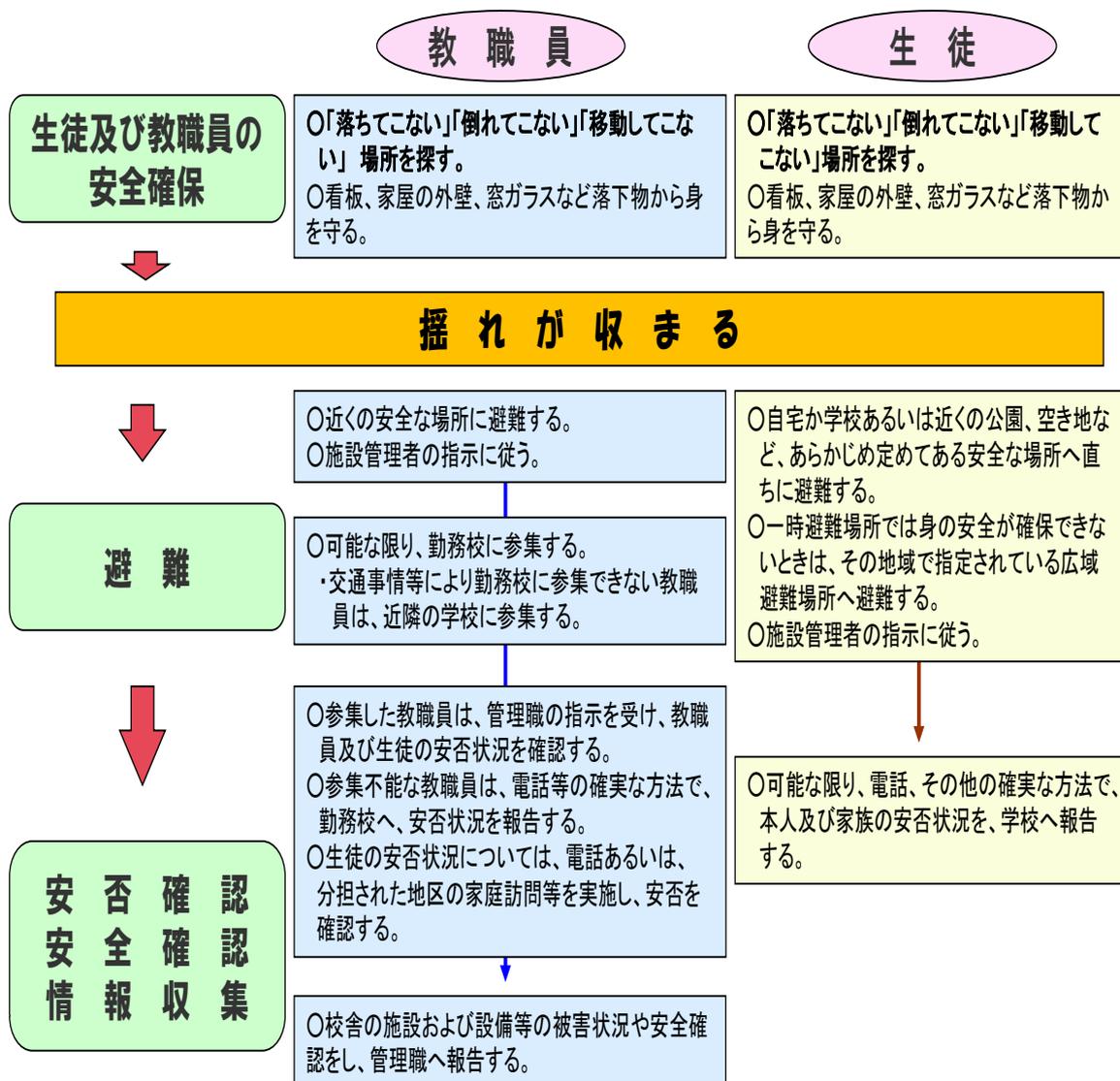
初期対応

- ① グラツときたら、頭部を保護する。
- ② 低い姿勢で落下物や倒壊物を避ける。

揺れが収まったら

- ① 頭部を保護して避難する。（近くの安全な場所を選択する）
- ② 落下物や倒壊物に気をつける。
- ③ 近くの丈夫な建物などに避難する。

学校管理外〔休日・夜間〕の初期対応



初期対応

- ① グラツときたら、頭部を保護する。
- ② 低い姿勢で落下物や倒壊物を避ける。

揺れが収まったら

- ① 頭部を保護して避難する。（近くの安全な場所を選択する）
- ② 落下物や倒壊物に気をつける。
- ③ 近くの丈夫な建物などに避難する。